

27

見 解 書

黒部幹線建替工事

昭和61年1月

東京電力株式会社  
多 摩 支 店

## 1. 総 括

### 1.1 事業者の氏名及び住所

氏名：東京電力株式会社多摩支店 代表者 多摩支店長 吉川新吉

住所：東京都八王子市旭町13-17 電話（0426）42-5201

### 1.2 対象事業の名称

黒部幹線建替工事

〔送電線路の変更〕

### 1.3 対象事業の内容の概略

この事業は送電線路の電圧の変更であり、その計画の概略は表1-1に示すとおりである。

表1-1 事業計画の概要

項 目		既 設	変 更 後
電 圧		15万4千ボルト	27万5千ボルト
線 路 の 長 さ		7.13km	7.64km
鉄 塔	基 数	27 基	27 基
	平均塔高	27 m	64 m
電線地上高	平 野 部	8 m 以上	27 m 以上
	山 間 部	6 m 以上	21 m 以上

### 1.4 意見及び事業者の見解の概略

評価書案について、関係地域が位置している青梅市長から意見が提出された。なお、都民からの意見書の提出はなかった。また、公述人の申し出はなかったため公聴会は開催されなかった。

青梅市長の意見と事業者の見解の要旨の概略は表1-2に示すとおりである。

表 1 - 2 意見の要旨と見解の要旨の概略

意見の要旨	見解の要旨
市街化区域内での工事にあたっては環境保全に万全の配慮をすること。	工事にあたっては、公害防止対策を実施し、環境保全に努める。

## 2. 対象事業の目的及び内容

### 2.1 事業の目的

青梅市並びにその周辺地域で使用する電気は、主に八王子市石川町にある南多摩変電所から送電しているが、ここ数年来市街化の進展や工業団地建設などにより当地域の電気の消費量は年々増加の一途をたどっている。

このため、現在の送電線だけでは、今後の電気の消費量の増加に対応できない状況となるので、昭和64年頃までに当地域を通過している15万4千ボルト黒部幹線を27万5千ボルト送電線に建て替えてこれに対処するものである。

### 2.2 事業の内容

#### (1) 事業の位置及び区域

東京都に直接係る送電線計画ルートは図2-1に示すとおり、青梅市の北東部に位置している。なお、起点及び終点は以下に示すとおりである。

起点：東京都青梅市成木

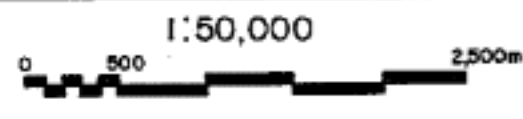
終点：東京都青梅市今井

#### (2) 設備の概要

本事業の設備の概要は表2-1に示すとおりである。また、運搬経路等を図2-1に示す。

表2-1 設備概要一覧表

項 目		既 設	変 更 後
電 圧		15万4千ボルト	27万5千ボルト
回 線 数		2回線	2回線
長 さ		7.13km	7.64km
鉄 塔	基 数	27基	27基
	平均塔高	約27m	約64m
電 線	種 類	鋼心アルミより線	鋼心耐熱アルミ合金より線
	外 径	22.2mm	52.8mm
	1回線当りの条数	3条	6条
電線地上高	平野部	8m以上	27m以上
	山間部	6m以上	21m以上



●—● 送電線計画ルート

凡 例

- 鉄塔建替地点
- 索道
- OE 電線工事 (エンジン場)
- OD 電線工事 (ドラム場)
- 運搬経路
- 仮設道路 (拡幅及び新設)

図 2 - 1 運搬経路及び工事位置

(3) 工事手順及び工程

本事業は昭和61年度に工事に着手し、昭和64年度に完成の予定である。

工事区域を3工区に分割して順次実施するが、各工区の標準的な工事手順及び工程は表2-2に示すとおりである。

表2-2 工事手順及び工程

工事手順		工程 (月)	6	12	18
仮設工事	仮設道路・索道・準備工事	3カ月	[Timeline bar from 0 to 3 months]		
既設設備撤去工事	電線・鉄塔・基礎	5カ月	[Timeline bar from 0 to 5 months]		
新規建設工事	基礎工事	掘削・配筋・ <sup>コンクリート</sup> 打設・埋戻し	[Timeline bar from 0 to 6 months]		
	鉄塔組立工事	機械組立	[Timeline bar from 3 to 9 months]		
	電線工事	足場組立 がいし取付・金車吊 ワイヤー延長 電線延縮・緊線	[Timeline bar from 9 to 15 months]		
整地・跡片付			[Timeline bar from 15 to 17 months]		

(4) 工法の概要

各工種の工法の概要は表2-3に示すとおりである。

表2-3 工法の概要

工種	工法の概要	
仮設工事	資材運搬用の仮設道路及び索道の設置、撤去工事及び新規建設工事を実施するための仮囲いの設置等の準備工事を行う。	
既設設備撤去工事	既設設備撤去工事は、電線撤去、鉄塔解体及び基礎解体工事が含まれており、鉄塔解体はトラッククレーンや台棒を利用して行い、基礎解体は地下1-m位までの既設基礎を壊し、埋め戻しを行う。	
新規建設工事	基礎工事	「オープンカット工法」、「深礎工法」、「場所打ち杭工法」等で杭ならびにコンクリート基礎の建設を行う。
	鉄塔組立工事	トラッククレーンやタワークレーン等により実施する。
	電線工事	ドラム場とエンジン場を設置し、10数基の間を同時に施工する。